

平成21年12月10日  
 第9回日本バイオセーフティー学会総会  
 ベーシックレクチャー①

## 輸入感染症

東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座  
 感染制御・検査診断学分野  
 高山陽子

## コレラ Cholera



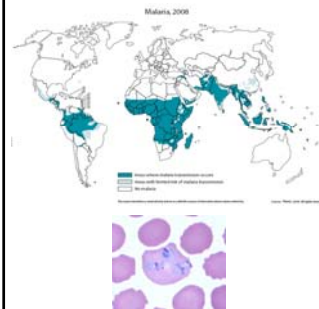
- ✓通常、感染から2~3日で発症する
- ✓感染者の多くは軽症あるいは無症状に経過する
- ✓少量の菌で感染が成立する
- ✓菌を経口摂取することで感染するので、特に水や魚介類に注意する
- ✓主な症状は水様便、脱水、電解質異常、循環不全
- ✓下痢に対する治療と抗生物質の投与を行う
- ✓ワクチンがある（効果については意見が分かれる）

## デング熱 Dengue fever



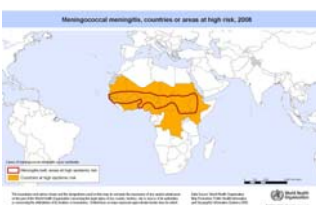
- ✓熱帯・亜熱帯で広く発生している
- ✓蚊から感染する病気である
- ✓主な症状は発熱、しばしば頭痛、関節痛
- ✓特別な治療は不要であり、1-2週間で自然治癒する
- ✓再感染例の一部で出血熱に至ることがあり、その場合の死亡率は高い

## マラリア Malaria



- ✓熱帯・亜熱帯で広く発生している
- ✓年間の罹患者数は3~5億人、死者数は150~270万人といわれている
- ✓ハマダラカから感染し、10~14日後に発病する
- ✓主な症状は発熱
- ✓薬物治療が有効であるが、放置すると手遅れになることがあるので、発病から4日以内に有効な治療を開始することが大切である
- ✓現在のところ有効なワクチンはない

## 髄膜炎菌性髄膜炎 Meningococcal meningitis



- ✓世界中に分布するが、最大の流行地はMaliからEthiopiaに至る赤道アフリカ(Meningitis belt)である
- ✓感染者の唾液などが飛んでくることにより感染(飛沫感染)し、通常3-4日後に発病する
- ✓主な症状は発熱、頭痛、悪心・嘔吐、発疹
- ✓抗生物質が有効である
- ✓ワクチンが普及しているが、日本では未認可

## 狂犬病 Rabies



- ✓島国を除けば、ほぼ全世界で発生する。
- ✓ウィルスに感染したイヌ、オオカミ、キツネなどに噛まれることで感染し、噛まれてから通常2~8週後に発病する
- ✓初期は局所の痛み、頭痛、発熱。徐々に興奮状態、呼吸麻痺などを起こす
- ✓発病すると100%死亡する
- ✓ワクチンが有効である